

認知症

早期発見・早期治療を心がけましょう

▲日野中学校3年生を対象に「認知症」の学習会が行われました（1月14日）

認知症は「病気」です

認知症は誰にでも起こりうる脳の病気で、85歳以上の4人に1人にその症状があるといわれています。脳の機能が低下することで、「物忘れ」や「判断能力の低下」などが起こります。その結果、他人とのコミュニケーションが取りにくくなったり、周りの状況にあわせて行動が取れなくなったりするのです。

認知症は早期発見・早期受診が大切です

最近では認知症の研究も進み、原因も解明されてきています。アルツハイマー病などに代表される脳の变性によるものや、脳梗塞などの脳血管性によるものが原因の多くを占めています。甲状腺機能低下などの内科系の病気によるものや外傷により脳に血の固まりができたことによるものなども知られてきました。内科系や外傷によるものは「治る認

知症



▲認知症について学ぶ「暮らしいきいき講演会」が開催されました（昨年12月19日）

知症」とされ、早く原因を見つけ治療すれば、症状が改善する場合があります。また、治療法が確立されておらず改善が見込めないものであっても、初期のものであれば薬によって症状の進行を遅らせることができる場合もあるということです。

しかし、まだまだ「老化によるもの」という素人判断で、症状が進んでから初めて受診されるケースが日野町でも多くあるのが実情です。

ご家族やご近所の方が「もしかして認知症では？」と思ったときには、専門医などに相談しましょう。町では高齢者の総合相談窓口として地域

包括支援センターを設置しています。お気軽にご相談ください。

認知症サポーターを知っていますか？

認知症に対する偏見や誤解をなくし、認知症になっても尊厳をもって地域で暮らせるように、認知症の人や家族を応援するボランティアを全国で養成しています。日野町でも2009年末で1,966人、全国では昨年中に累計100万人を超えました。ボランティアといっても難しいことをするのではなく、認知症を正しく理解し、その人の立場でできることをするだけなのです。

町で手首にオレンジ色のリングを見かけたら、その方は認知症サポーターです。人の役に立つサポーターの活動そのものが何よりの認知症予防であり、自分のためにもつながる活動です。



▲オレンジ色のリングは「認知症サポーター」の証



こんな症状はありませんか？
認知症かもしれません！

- ① よく知っている場所でも、道に迷うことがある
- ② 融通が利かず、頑固で相手の意見を聞こうとしない
- ③ 会話中に、「あれ」「それ」などの代名詞をよく使う
- ④ 今言ったことでも、すぐに忘れてしまう
- ⑤ 夕方になると時間や場所が分からなくなり、変なことを言う
- ⑥ 意欲がなく、新しいことへの興味が無い
- ⑦ ごく簡単なことも理解できない
- ⑧ 発想が乏しい
- ⑨ ゴミや紙などを収集する
- ⑩ 話がちぐはぐで、内容が分からない
- ⑪ 身だしなみを気にしない
- ⑫ 昨日の出来事をほとんど忘れてしまう
- ⑬ 動作がおそくなってきている
- ⑭ 被害妄想的で、お金や物を盗まれたという
- ⑮ 食べ物でないものでも食べようとする
- ⑯ ちょっとしたことでもイライラする
- ⑰ 今が何年、何月であるか分からない
- ⑱ 過去に意識を失うほど、頭を強く打ったことがある
- ⑲ 重ね着をしたり、着衣の順を誤ったりする
- ⑳ 不潔、清潔の区分がつかず、わざと汚したりする
- ㉑ 独り言を言う
- ㉒ やさしい計算でも間違える
- ㉓ ちょっとしたことでも泣いたり、激怒したりする
- ㉔ 作り話をよくする
- ㉕ 時々、家族の名前を間違えたり、忘れたりする
- ㉖ 今日が何日か、何曜日かが正確に言えない
- ㉗ 食事したことを忘れ、何度も食事を要求する
- ㉘ 話がぐどく、同じことを何度も繰り返す
- ㉙ 意味もなくウロウロしたり、外に出て行く
- ㉚ 人付き合いが苦手で、閉じこもりがちである

スタートしました！

「日野町徘徊高齢者SOSネットワーク」



▲セブンイレブン日野高校前店にもステッカーが貼られています

認知症が引き起こす症状の一つに「徘徊」行為があります。介護をする人にとって徘徊は大変な心労になるとともに、認知症高齢者本人にとっても見知らぬ場所や交通の激しい場所、山林に迷い込んでしまったら大変危険です。

これまでも、徘徊する高齢者などを地域の皆さんや消防団、警察、介護保険施設、役場などが協力して発見していました。

今回、従来の方法に加え、地域の旅客運送会社、コンビニエンスストア、ガソリンスタンドなどの協力会員によるネットワークをつくり、少しでも早く発見保護されることを目指すこととなりました。

実際には、高齢者の方が行方不明となられたときに捜索願を出されたら、警察と役場が連携し行方不明者の特徴を記載した連絡票を作成し、協力会員へファックスなどで情報を提供します。連絡票を受けた事業所などは、その業務を通じて行方不明者の情報収集を行うというのがこのネットワークの活動です。

地域の中で行方不明の方が出た



ときは、警察へ届け出るとともにできる限り早く地域の多くの方に知らせましょう。身内で何とかするには限度があります。隠さず遠慮しないで、暗くなるまでに連絡し、早期発見に努めてください。

また、地域の中でも高齢者の方が普段とは違う行動をされているのを見かけたら、あいさつなどでゆっくり話しかけるなどの対応をお願いします。

日野町徘徊高齢者位置情報提供サービス利用助成事業

町では、認知症などによる徘徊高齢者を早期に発見し本人の安全を確保することを目的として、GPS（全地球測位システム）端末機を利用した位置情報提供サービス利用費用の一部を助成しています。利用できる方、助成額など、詳しい内容は下記までお問い合わせください。

◆問い合わせ先

介護支援課 介護支援担当 ☎62-6501 有線 57788 地域包括支援センター ☎62-6001 有線 51148

あなたにも
できることがあります

もし周りが認知症の人の病状を理せず理屈でやり込めたりすれば、余計に本人は混乱し、結果的に暴力や異常な行動をとるといった問題を生じることになります。また、家に帰る道を忘れてしまうなど、日々の暮らしの中でも認知症の人がパニックになる場面も出てきます。

このような時どう対応したらいいかを知っている人と出会えたら、その人は落ち着きを取り戻すことができるかもしれません。ご本人の気持ちに沿った周りの対応があれば、認知症の人にも穏やかに暮らしていくことが可能なのです。

認知症の人の毎日の暮らしの中で、あなたにもできることがきっとあるはずです。